



問合せ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 森 弘和

電話 022-363-0111 (内線 2530)

平成 27 年 8 月 7 日

第二管区海上保安本部

午後 1 時 30 分 発表

八木港、鮎川港の水深測量成果について

岩手県の八木港、宮城県の鮎川港の水深測量が終了しました。
今回の水深測量により東日本大震災により被災した宮城県内の港湾の水深測量が全て終了しました。
震災による被災港湾の 21 海域が水深測量の対象となっておりますが、今回の 2 港を実施したことで 20 海域の水深測量を終了し、残すは岩手県内の山田港 1 港のみとなりました。

第二管区海上保安本部では、被災した港湾の早期復旧のため計画的に水深測量を行っています。

今回は 6 月 25 日から 7 月 15 日まで、測量船「天洋」(船長伊藤孝)により八木港及び鮎川港の水深測量を実施しました。

測量の結果、港湾及び周辺の詳細な水深が明らかになり、海底の状況が詳しく分かりました。(別紙海底地形図参照)



宮城県内の震災対応の水深測量は、仙台塩釜港塩釜区(平成24年7月終了)、仙台塩釜港仙台区(平成24年12月終了)、石巻港(平成25年7月終了)、気仙沼港(平成25年10月終了)、女川港(平成26年9月終了)を実施しました。

今回の水深測量で宮城県内の水深測量は全て終了しました。

今回の水深測量成果は詳細な解析を行い海図の最新維持に役立ててまいります。



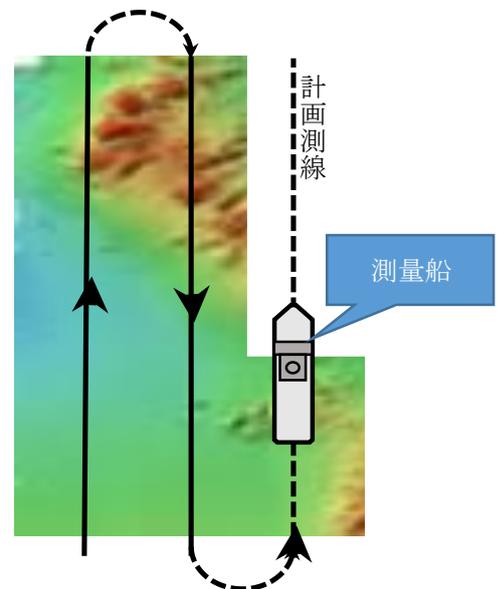
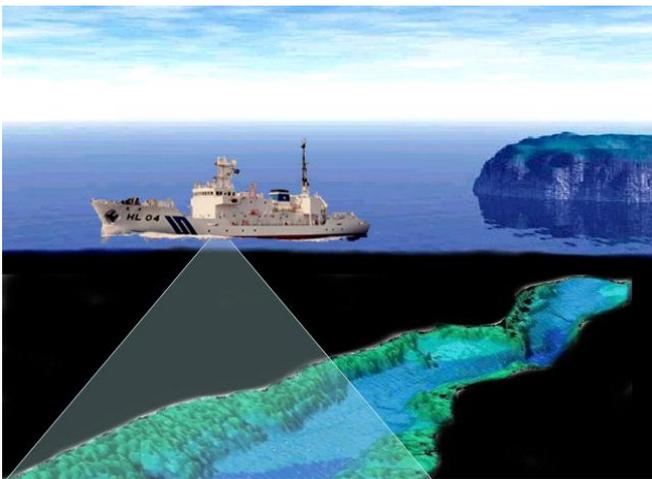
測量船「天洋」の概要



塩釜航路航行中の天洋

- ・ 総トン数 430 トン
- ・ 主要寸法 56.0×9.8×5.0m
(全長×巾×深さ)
- ・ 主要観測機器 マルチビーム測深機
投下式水深水温計
超音波流速計

水深測量の概要

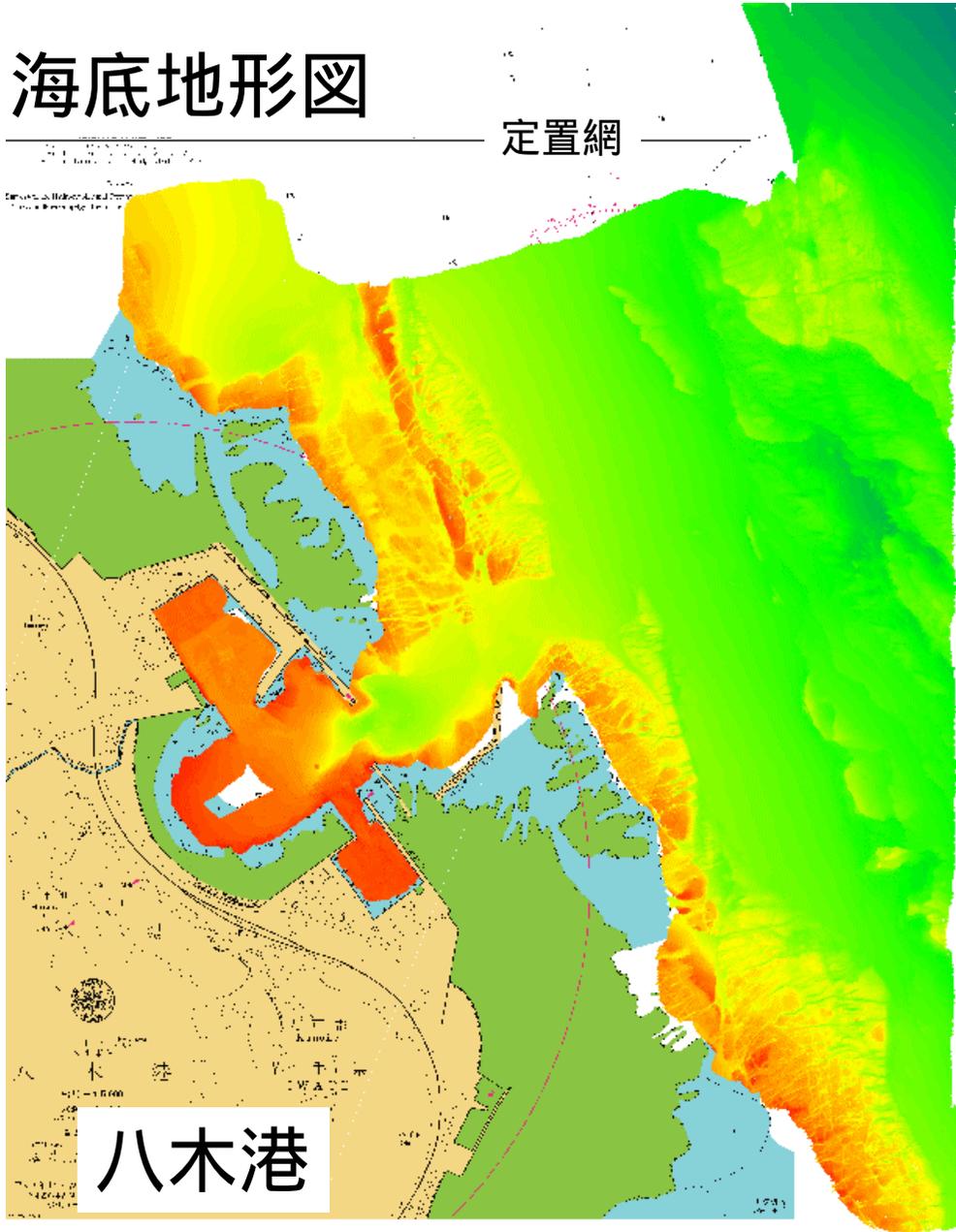


測量船から海底に向けて広角に音波を出し、音波の往復時間と水中での音の速度から水深を計測します。

船の航跡に沿って水深の約3倍以上の幅で海底地形を明らかにすることができます。

海底地形図

定置網



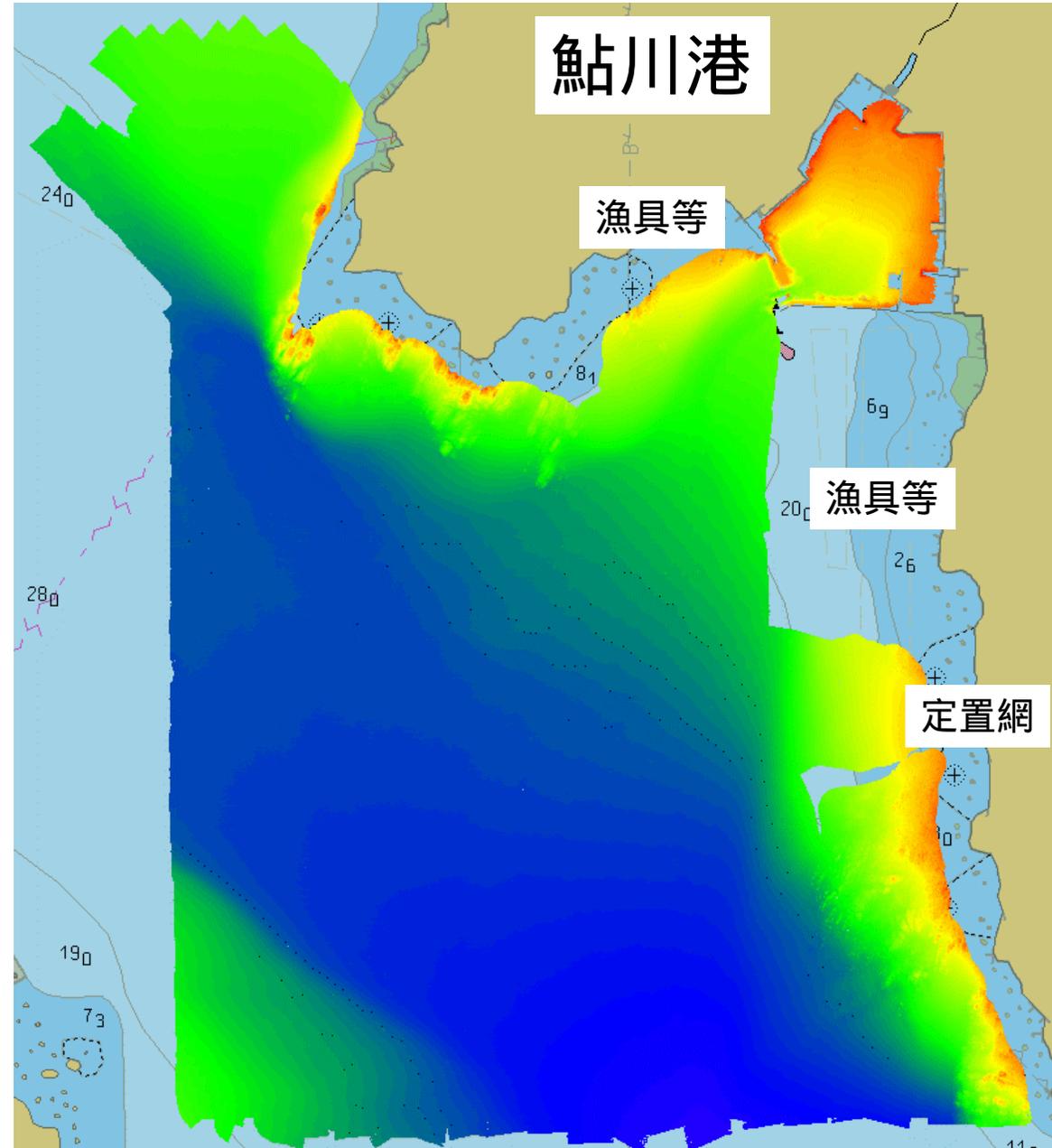
八木港

鮎川港

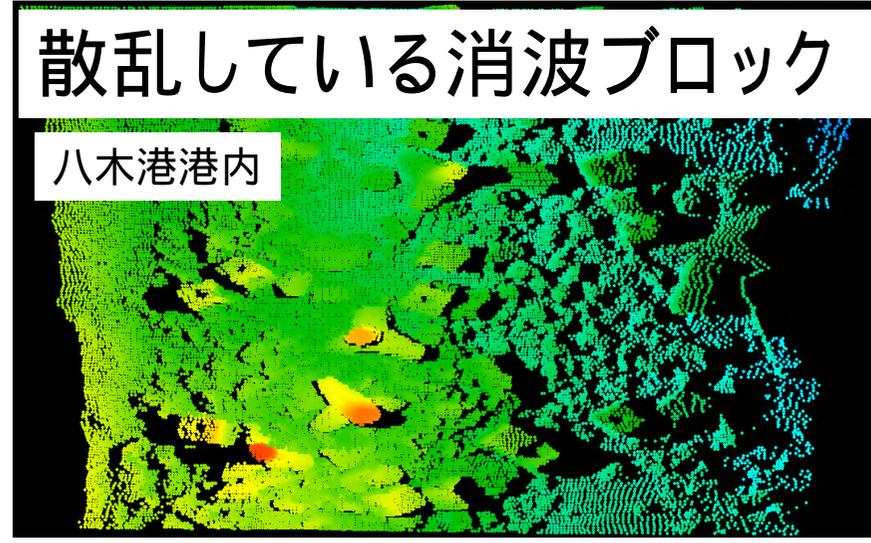
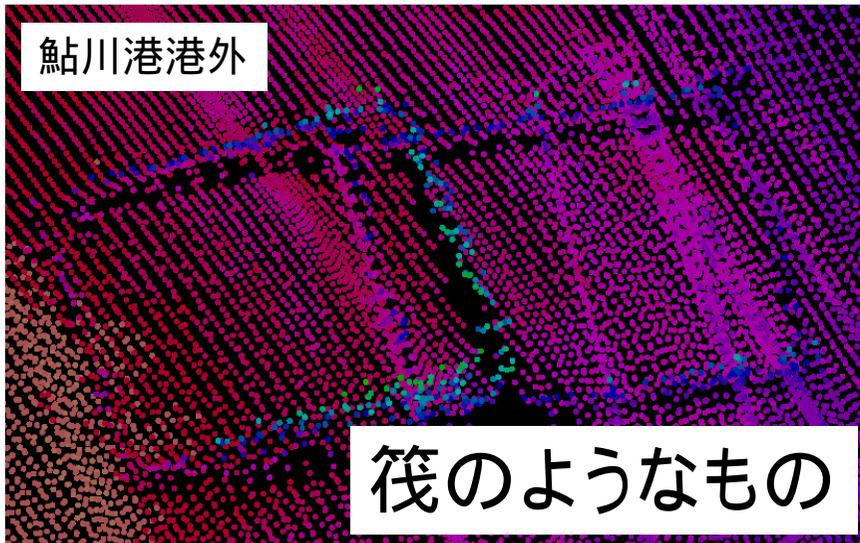
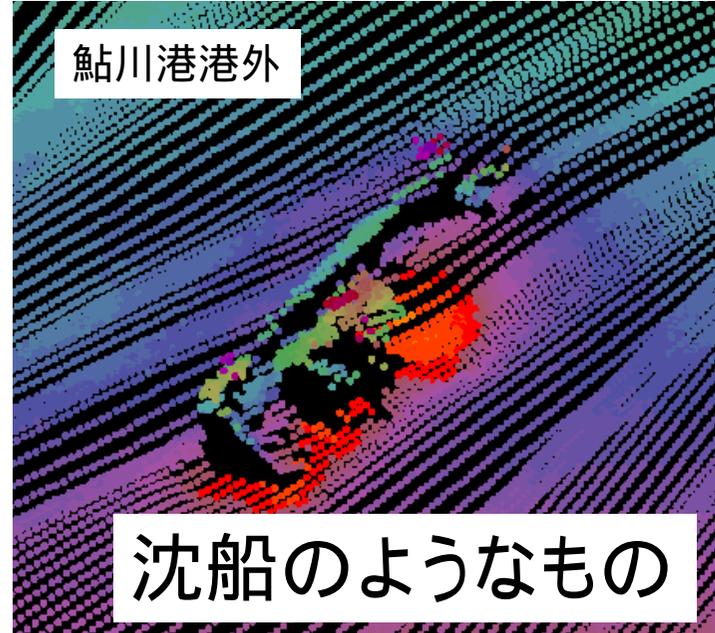
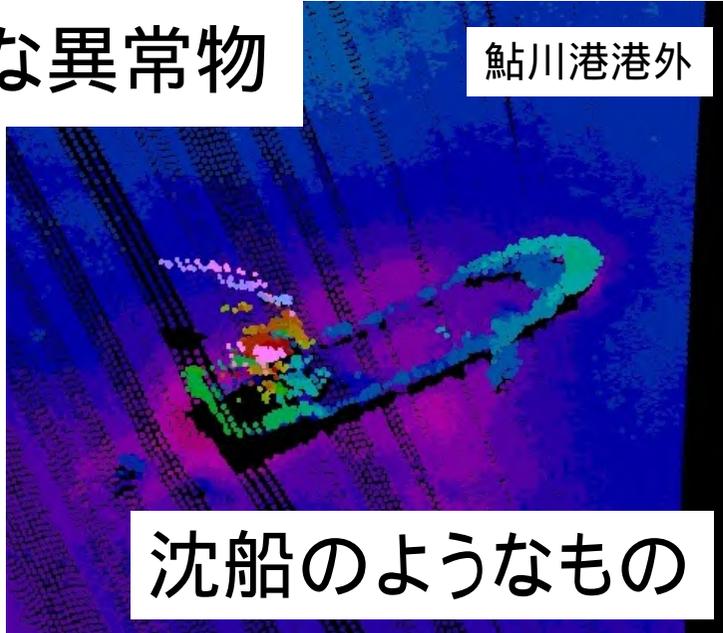
漁具等

漁具等

定置網



発見した主な異常物



現行海図より浅く船舶航行に影響があるものについては水路通報により周知しています。